京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

發行兼編輯人 高木久太郎 印刷人 [illegible] 發行所 京城新報社 仁川支局 東京支局

●歳末自觀(四)

(七) 夢涯浪客

今や我が四顧を圍むものは曰く過去の闇き影にぼかし出されたる疑と惑ひとのファントムのみ、アヽ鎚を揮つて巖を鑿る石工は幸なり耳に鑿の響に和して彼等の歌ふ聲の何ぞ朗々なる事よ鋤を把つて耕る農夫は幸なり一條の陽光に照されて黎みたる渠等の相貌に何の憂ひの影やある。

嗚呼傲し吾愁ひなる智識と理論とを解せざりしならんには吾は靜かに生き靜かに死し得るならんに然れども社會は此の病を懷いて猶强いて吾れに鞭ちて生存の拓場に驅驅せしめんとす而して人病んで臥すこと三日なれば社會は彼れを殘して三十日の前程に進むの勢に吾れは藥籠を携へて猶戰場に出でざる可らざるなり然れ共憐ましや予は既に罷れて曳に重き此脚を如何にせん此の破れたる心臟より生々しき血を灑ぎて鋭る丶まで更に余は其の驅端を續けざる可らざるか哀れ予は遠大の志を懷いて空しく墓穴に入らざる可らざるかア、思茲に到ればほとんど吾は忍ばざるものあり能ふ可くんば吾れに猶萬卷の書を讀破せしめ博引確證我が志を成らしめよ天倘し餘生をあたふること永からば或は余は予が目的の十一を成さんすと嗚呼天よ往日吾が生を護惜せし所を以て更に是れを吾が後生の上に惠めよ

予は猶記す可き多くを剩せども吾が指は既に萎へんとして一管の筆の重きこと恰も千鈞の石に似たり强て紙に莅み筆を援くも感慨徒らに高潮して字々に惱み句々に澁るア、遂に筆を擱きて東天紅に近き深夜の曉天を望まんとす

速記速記(十日夜病床にて稿す)

●コツパ會句錄

兎角天狗りたがるが常とは云へ所謂名詮自稱の木の葉介を標榜して大々天狗の大天狗中天狗小天狗乃至木の葉天狗の面々が自分で自分が厄介がる程の鼻を廣くもあらぬ一堂に突合すと云ふに至つては近頃以て危險千萬軒の氷柱の折れては繼ぐに備なかるべし若しそれ其鼻息と羽風とが合して南山嵐の空風となり漢城の天地に雨雪を捲き木の葉を廻はすに至りては天人共に迷惑一方ならざる次第にして御互様ながらに寒心せざるを得ずして流石呑氣者揃ひの同人等も消へたストーブの傍に寄ひ上りつゝ爾來簡單且つ明瞭に假名文字の「コツパ」と稱するに衆議忽ち決了去りながら此「コツパ」は其木片たるか骨片たるか木葉たるか硬派たるか將又軟、新、舊たるかは各人各個に存せんのみ

極月九日於例會席上互撰

出席者 靜軒 袋人 六朝 苔石 魚骨 湖東 碓川 梅村 白雨

○冬籠

冬籠り佛年代史繙まばやと　六朝
發たびか釜の掃除も冬籠り　同
屋外氷古ぶを田舍冬ごもり　碓川
落胎の古書補寫せん冬籠り　湖東
未稿纒きて山河巡りや冬籠　梅村
冬籠眠を病む妻に句集讀む　苔石
冬ごもり佛を刻む音折々す　同
枯木寒みの身はさつなく冬籠　袋人
馴馬師の餘鑿彫刻に籠る冬　同
故師の稿紐くに眼疎し冬籠　靜軒
濤の聲松の嵐やふゆごもり　同
籠る冬れ鑑賞りに易もあり　袋人
枯菊を其儘にして冬ごもり　靜軒
論語など猿に聞せ笑ふも冬籠　魚骨

●雪佛(雪達摩)

樹々の鳥啼かず飛だり雪佛　湖東
雪達磨たくみが軒の朔焚火　碓川
眼鼻口浮世に黒し雪だるま　同
雨少し雪の佛につゝがなき　靜軒
我祖師も消へけん雪達磨　袋人
白眼に見る行路の人や雪佛　白雨
雪達磨跡なく消へて四海哉　同
雪達磨一語なうして相對す　苔石
雪佛に駄馬髯ぎ鮭買ふ男哉　魚骨
巧なり佛師が門の雪だるま　同
雪ばとけ陀佛庵裡に齋客有　靜軒
寒夜若行の蘇眉動ぐ雪達磨　袋人
雪佛雨夜ひそかに消失せし　苔石

外事一束

▲總代●雅典に到着してクリート島問題益々危迫となる總代は其の行動をば
▲嚴重●に監視され議會軍隊に警護されて海軍軍港に集り雅典府一層の加警戒
▲土國●或保障の下に露艦のダ海峽通航許可談判を露と繼續する可否を審議
▲政府●の默認を得獨逸の私人濟官軍に味方すとの諸外國の非難を獨否認す
▲英艦●オーライオン號發電室に石油爆發し火焔の爲士卒廿名重傷を負ふ
▲首相●ア氏下院にモーレー卿上院に多大なる印度戴冠式費の有要を說明す
▲駐土●獨逸大使の申込に依り土國在スミルナの伊人放逐命令を撤去せりと
▲西佛●兩國間に於ける摩洛哥問題の談判は目下頗る順當に進行中なりと云ふ
▲獨軍●備膨脹說行はるゝも聯邦議會は未だ商議せず其風說は早計に失すと
▲西國●皇后陛下皇女を御分娩あり母子共に極めて健全に渉らせらると傳ふ
▲波斯●新聞協會露國が自國に對する行動に關し遂に我東京同業者に書を寄
▲哀願●して曰波斯累卵の危に在貴國の同情と義俠とに縋り公正なる望解決

新年和歌募集

勅題「松上鶴」　選者九皐館去留

一、一人にて何首にても宜敷、用紙用箋は御隨意の事、但投詠者は住所氏名御明記の事
一、締切期限來る十二月二十日
一、發表は四十五年一月元旦の本紙上を以てす

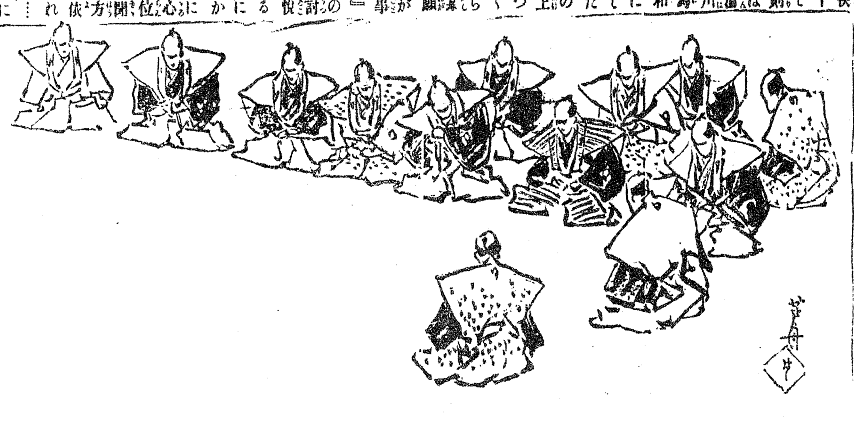
右は例年の通り勅題和歌募集致候に付同好の御方は奮つて御投詠あらんことを

京城新報編輯局

梁川庄八

第五十九回　小金井蘆洲演

滿座の人々何れも梁川庄八に同情を表して居る、且平素から藻庭主水の横暴を憎しみ居る若武士ばかりだから、此君命を承はつて誰一人あつて打手に對はんと云ふ者は御座いません只顏と顏とを見合はして居るばかり、滿座何とも無く白らけ渡りました、政宗侯は此爲体を見て少しく顏の色を變へて 政『彼れを捕らへて立戾りし者へは恩賞の沙汰に及ぶで有らう……其方等は臆病風に誘はれたるか、何故に答を致さんか……俯甲斐無き奴斗り揃うて居る、ヨシ予は北條九代の執權最明寺時賴の例に倣ひ圓頭黑衣の姿に成り、雲水行脚をなし彼の在所を訪ね求め連返りて國法に處す左樣心得ろ』と叱責して其儘席を立たんとした、此時座の中央より外『暫くと』聲を掛けた者が有る、滿座何人ならんと、視線は皆聲を懸けた人に集まつた、政宗侯の御側役を勤めて千五百石の祿を頂いて居る、齋藤外記高則と云ふ人物、家中では賢者の評判の高い温厚の性、此人は梁川庄八とは同年で竹馬の友のみならず、和田但馬の許に同窓に學び、意氣投合して義兄弟の契ひをした間柄だ、夫故梁川の事に付て何とか申上るのであらうと思つて居ると、御前近くに進み 外『恐ながら梁川庄八召捕の役目に仰付下さるやう願ひ奉ります、彼れが行途を訪ね出し美事に同道仕ります』居合はす面々奇異の思をした、他人が討手に向ふと云ても悅ばぬのが當然であるべきに自分が召捕に向ふと云ふのは訝かしいと思つた、中には外記の浮薄なる心を蔑んだ者もある位、政宗侯は此言葉を聞まして 政『ウム其方に討手を申付るに依り速に彼れを召連れ立戾れ』外『ハ、ア……夫に就きまして君に一つの御願がござります一体彼れを召捕は實に容易ならぬ事でござりますが愈々召捕りました曉には、如何なる恩賞を下し置かれますか伺ひたう存じます』卑劣な事を申す奴ぢやと政宗侯始皆思つた、何か仔細のある事ぢやと思召したから 政『ウム庄八を召捕り首尾よく立歸つた際には千石の加增を申付るであらう』外『有難き仕合せに存じます、就ては千石加增の次第只今御墨付を頂戴仕りたう存じます』政『宜しい認め遣す……祐筆を呼べ』とあつて御祐筆を召され其通り認めさせ、政宗侯自身で花押を遊ばして、外記に賜りました、外記は當日の御日記係を呼んで殿中の御日記に右の次第を止めさせ月番老臣天童筑前の前へ來て 外『何うぞ御制判を願ひとう御座います』と頼んで制判をして貰つた、隨分手堅いと滿座の人々も驚いた、政宗侯より御手許金の内より若干の金子を旅中の手當として下し置かれて、齋藤外記上々の首尾で御前を下りました、外記が斯樣に手堅くして御墨付を頂いたのは、何も此食祿を貪らうと云ふ了簡では御坐りませぬ、實は此千石の食祿を以て梁川庄八の子を持て梁川の家を立てさせようと云ふ所存でございます、庄八の子と云へば嘸かし讀者諸君は定めて訝かるで御座いませうが、話は遡りますが庄八が未だ齋藤外記と和田但馬の門に學んで居りました當時、梁川も素無情の木石ではありません、但馬の娘た膣と假寢の契りを結びました、興の若氣の過失でございますが、緣は異なもので膣が程もなく庄八の種子を宿しました、けれども庄八は勿論當人さへ知らずに居た、其中に彼の大手下馬先で藻庭周防を討つて主水の牢に入られ後ち破牢して立ち退く、其の跡でた膣は姙娠した事に心付き、隱すに隱されぬ岩田帶是非なく此事を母親に打明ます、母親も大きに驚きましたが據ないから、良夫に告げると但馬の申すには 但『實の所乃公の所存は、娘は庄八に娶はしたいと內々彼れに話を致した事もある、彼れも異存なきやうであるから、娘に云て聞かした事もあつた、行く〳〵は夫婦にして遣らうと心組んで居つた』內に、藻庭を討つやうな珍事出來、併し親の目褄を忍んで勝手に契りを結ぶと云のは、何處までも不義に相違ないけれ共、出來て了つた事は今更致方がない、不義は不義として未來の良夫、適れなる武士の胤を宿したと云のは悅ばしい譯である、なれど此節政宗侯の御怒り强ければ、若し此事上聞に達し娘の腹に宿りし子をば聞から聞へ遣ると云やうな事があつては一大事、是非に及ばぬ窃に娘を勘當して了ふが宜からう』と夫婦相談を致しました、



廣告

勸業貯蓄債券賣買の好機
現物 問屋 曾野峻輔商店
京城南山町三丁目 電話一四〇九番

貸家
京城長谷川町一丁目皆川の隣 一朝鮮家一戸
右御用の方は皆川方へ御來談あれ

解雇廣告
榎榮三郎
右の者今般都合に依り解雇致候間自今當店に何等關係無之此段廣告候也
四十四年十二月十五日
京城御成町 協同組支店

SoNtag Hotel
御宿泊 御一人樣一晝夜三圓以上 食附き金七圓 茶代なし
御食事 御晝食 御夕食 壹圓五十錢
各種御宴會
右は御註文に從ひ如何樣にも獻立を作り直段の儀も精々勉强可仕候
尙ほ當所には玉突場御會談室の設けも有之且つ世界中の新聞雜誌等も取揃有之候
京城貞洞 ソンタクホテル 電話七三九番

文學士成田忠良先生編(新版發賣)
朝鮮語對譯國語會話入門
朝鮮總督府檢定濟
第一卷發賣定價金三十錢 郵稅六錢
第二卷發賣定價金四十五錢 郵稅六錢
本書は國語專攻の成田文學博士の普通學校學徒用國語讀本に準據して編纂されし普通學校教科書として總督府の檢定濟となれるものにして材料を學徒に密接なる關係を有する事項を取り簡よりり繁に易より難に或は組織的に或は練習的に叮寧懇切を旨とし用語の如きも粗硬なる言句を避け鍛煉に鍛煉を加へたれば正確にして且つ品格あるを逐字的に附したれば朝鮮語に習熟せざる內地人敎師も國語に造詣深からざる鮮人敎師も本書を使用すれば容易に國語敎授の目的を達し得べし

寺內總督閣下題字 城南同志會編 ポケット日鮮會話 洋裝全一冊 定價金五十五錢 郵稅金六錢
每日申報社 鄭雲復著 韓日英新會話 洋裝全一冊 特價金一圓二十錢 郵稅金十二錢
發行所 京城本町二丁目 日韓書房 電話百四十五番 振替京城百十五番

京城北米倉町(婦人病院向側)
注連內齒科醫院
院長 從七位 注連內石 電話八一二番

擴張廣告
當製粉所儀從來の經營方針を變更し今回元宮內大臣俞吉濬氏及安曉洙氏の兩氏の加名を仰ぎ事業の一大擴張と俱に良好なる原料を撰び善良なる製粉機を以て製粉し廉價を旨とし各地方へ輸出は勿論薄利多賣主義を以て販賣致候間多少に不拘御購求あらん事を切望す
京城中部琵琶町(水標橋通) 京城製粉所 電話一千八十二番

內外科 小兒科 梅毒淋病
京城壽町三丁目 高井醫院 電話二一六番
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
小兒科專任 大坂醫學士 植利彥

耳鼻咽頭喉頭 氣管氣管枝病 專門
診療時間 午前自九時至十二時 午後自二時至六時 日曜祭日午後二時迄
京城本町二丁目 石田耳鼻咽喉氣管病醫院 電話一七〇九番
前京都醫科大學耳鼻咽喉科敎室醫員 前民團立漢城病院耳鼻咽喉科部長 石田誠

眼科
京城明治町三丁目本通り東洋拓殖會社南側
日曜及祭日は午後二時まで
江頭眼科醫院 江頭富雄 電話二千四十四番

東京電報

▲日英協同調停　日英兩國協同して居中調停に決し十六日官革兩軍に通牒を發せり上海駐在兩國領事其の衝に當るべし

▲獨逸革命派意見　伯林革命派倶樂部は列國が今回の清國動亂に對し中立の態度に出でしを稱贊し尚四ケ國新借款は滿洲新政府との間に成立すべしとの説あるに對し歐洲列國は斯る要求を受け付けざらんことを希望すとの一文を諸新聞に掲載す

▲選擧法改正委員會　西園寺首相は二十日午後五時より選擧法改正委員會を開き各大臣及元田總裁列席の上首相は一場の演説を爲す由

▲寺内總督へ下賜　寺内總督は要務を了へ十七日飯田發程に付十六日兩陛下より特別の思召を以て酒肴御下賜相成たり

▲犬養代議士の渡清　國民黨代議士犬養毅氏は十七日午後一時新橋發清國視察の途に就けり

▲浦鹽の歐洲輸出　浦鹽に於ける大豆の歐洲輸出は盛況にして十一月より一月迄の輸出契約濟のもの既に七隻に達し目下盛に荷作中なる由之に比して大連は先きにバーシニア號一隻の大豆輸出を爲せしのみにて目下大連入港船の決定し居れるもの一隻もなしと

北京特電

▲北伐軍部隊所在　北伐軍の部隊は目下浦江に在りて北上の準備中なり其の兵數は約六千なりと

▲北伐軍士氣旺盛　北伐軍三千名滿船二隻にて上海に到着し軍需品準備の爲め十七日上海發直ちに武昌に向つて回航の豫定なるが士氣頗る旺盛なり

▲岑春煊の野心　岑春煊は漸く其の鋒鋩を現はし伍廷芳と結合して袁世凱排斥の運動に着手せり不日會議を開かるべき上海の媾和は岑春煊によりて攪亂せらるべしと充分に信ぜらる

▲宋教仁と黄興　十四日夜宋教仁は黄興等と共に協定したる媾和の原案を齎らし上海より北京に向へり黄興は尚は上海に在りて諸般の計畫に忙はしく南京に於ける會議の決定及び唐紹怡との和議成立を認めたる上新政府の主義を定め南京に出づる筈新政府の政綱及官制は目下頻りに制定中なりと

▲官軍の作戰計畫　張勳軍は目下徐州に駐屯し北部よりの援軍と合し其の前進部隊は猛縣附近に進みつゝあり又官軍の一部は鉞州義州の革命軍を壓迫せんとしつゝあり之れが爲め伍廷芳は袁世凱に打電して同方面の官軍が進行を敢てすれば休戰條約を破棄すべき旨通知せり又海南太康縣附近に赴きし兵士は二千に達し宣敎師は避難し官軍の一部隊は鎮定の爲め該地に派遣さるべし

上海電報

▲上海邦人貿易協會　上海在留邦人貿易業者は今回の動亂に關し團體的機關の必要を認め在留本邦商人全体の贊同を得て上海日本人貿易協會なるものを設立したる旨同地大田領事より農商務省に報告ありたりと

▲參謀長の死刑　鎭江革命軍參謀長陶駿保は十四日間諜の故を以て軍政府前にて死刑に處せらる

▲連州の大騷擾　連州に於て李某は西南部の大都督と自から稱して掠奪を逞し民家十中の九迄は掠奪され其の婦女子は拐帶せられ廣宋軍諮府部員は皆逃走し非常の騷擾を極め居れるより其の筋に軍隊急行を乞ひ暴徒を鎮定せん事を要求し來れり

▲江南機器局と爆彈　江南機器局にては未だ爆烈彈を製造したる事なく目下其の需要多きより試みに先づ四百を製造することゝなり職工百名を増員するに決せり

雜報

●金融組合監督規程　十九日總督府令を以て發布すべき地方金融組合監督規程の内容を聞くに全文十一ヶ條より成りて同日より實施すべく其の要點は地方長官又は其命を受けたる官吏は何時にても地方金融組合の業務實況を檢査することを得ると同時に業務監督上必要なる命令を發し又は同組合をして諸般の報告を提出せしむると一面地方長官は業務監督上每年一回以上所轄金融組合の理事を召集し理事會議を開く事等なり

●農銀條例施行規則　既記の如く十九日總督府令を以て朝鮮農工銀行條例施行規則發布さるゝ筈なるが全文十一ヶ條より成るものにして其要點を擧ぐれば左の如し

一、農工銀行は左の場合に於て地方長官を經由し朝鮮總督の認可を受くる事

一、内規其の他の規則を制定し又は變更せむとするとき

一、他の銀行と『コルレスポンデンス』を締約せむとするとき

一、他の銀行又は會社の代理業務を經營せむとするとき

一、公共團體の委託を受け金錢の出納を取扱はむとするとき

一、積立金を使用せむとするとき

一、營業用土地建物を買入れ又は賣却せむとするとき

一、營業用建物の新築及改築增築又は大修繕を爲さむとするとき

一、財産目錄に揭記したる物件の價格を變更せむとするとき

一、取締役及監査役に對する報酬額を定め若くは變更せむとするとき

一、預金及貸金最高利率を限定し營業年度の初期に於て（朝鮮總督の認可を受くること）

一、其他各種料金公債社債又は株式の引受應募若くは賣買拂込資本金十分の一を超過する貸出を爲さむとするとき取締役監査役に對し貸出を爲さむとするとき、公共團體に對し無擔保貸付を爲さむとするとき農工債券を發行せむとするとき（朝鮮總督の認可を受ること）

以上の如くなるが本則は發布即日よりこれを施行の筈なり

●來年度の事業公債　本年度に於ける事業公債一千二百萬圓の内朝鮮銀行より貸出たるは既に四百萬圓ありて其他は一般會計より流用し港灣及鐵道工事に投入し居れるが此結果は來年三月乃至四十四年度の會計年度末に於て其名目を事業公債となし五分五厘の利息を附して朝鮮銀行の引受に歸するものなるが本年度に於ける該公債は全部朝銀が引受くることゝなるや否やは未定なるが多分其一部分を引受くることゝなるべしと

●官營煙草の試製　度支部税務課にては大邱、大田の兩試作場にて産出せし葉烟草を以て口付、紙卷、兩切、金口等の卷烟草製造の事は既報の如くなるが右は目下頻りに製造中にして來年一月下旬頃終了すべく尚金口は新たに土耳古より原葉を輸入して混合する筈にして葉卷は今年内に試製すべしと云ふ

●三井の山林經營　三井家にては朝鮮の山林經營に從事する事既報の如くなるが其着手期は明年三月末頃にして京畿道開城附近に於て第一に着手すべく其事業は自然林の保護及び殖林にして苗圃を設け苗木を養成すべく且其事業の計畫遠大なるを以て最初は主として試驗的に各種の計畫をなすと云へば一般の林業者に取りては參考となるべく又一面より見れば好個の林業試驗場と云ふを得べきを以て當局者に於ても三井家の事業に關しては大の便宜を與ふる筈なりと云ふ

●鮮人側の金融狀態　京城鮮人間の金融は去月以來米穀買出しの爲め其の資金を鮮内地に放散し而も朝鮮人小作人等が一昨、昨兩年度の米價騰貴を顧み本年も亦益々強氣一方なるを豫想して賣惜みを爲し放散資金の回收せられざる爲め甚だしき緊迫を告げ居たるが數日來各小作人の漸く賣出しを開始するあり米穀の出廻り弗々ありて又た玆數日内には各地に於ける本年收穫米の大部分は京仁市場に出廻るべき模樣なれば當地鮮人金融界亦漸く緩漫なるに至る傾向ありと漢一銀行員は語れり

●鮮人救護團の中止　鮮人醫師李顧濟等の企圖にて救護團を組織し革命亂の負傷者を救護せんとすることは既報したるが其の志たる嘉すべきも赤十字社より既に救護班を派遣しあれば此上更らに私人を以て救護團を組織する必要なかるべしと注告する者ありて遂ひに沙汰止みとなれりと云ふ

●寄附金品募集狀況　昨年十一月一日より本年九月末日に至る朝鮮各地寄附金品募集額に對する許可數并に其募集額は鮮人許可五十五件金額三萬二千九百九十一圓餘籾百九石餘麥三十五石餘鹽二百石明太魚十萬尾にして内地人許可は六件二萬三千三百六十五圓外國人許可一件五千圓なりと云ふ併して之等寄附募集の目的は鮮人側に於ては重に學校維持及佛堂建設なり内地人側は神社佛閣忠魂碑建設及遭難遺族の救助等の爲なるが外國人側は重に敎會建設の目的なり

●模範場の種牛買入　大邱模範場名倉技師は畜産獎勵牛種改良の目的を以て種牛買入の爲め豫て平壤方面へ出張中なりしが優良種牛十六頭を買入れ十七日大邱へ向け積出しを爲せりと

國有未墾地調査（一）

…八尋農商工部技師談…

予は這回慶尚南北道に出張し國有未墾地中貸下地の既に事業に着手したる土地の成績を見且つ種々なる調査を遂げたるが其の中未墾地開拓者の參考に資すると思推する點を述べんに慶尚南道に於ては馬山附近に三年前より百木某の經營せる畑十三餘町歩あり畑は傾斜ある砂礫地の原野を開墾したるものにて麥、煙草、蔬菜、果樹、桑苗等を植ね付けあり未だ熟地と稱する能はざるも手入れの良好なる爲め將來有望にて目下内地より五六の農民を移住せしめて小作を爲さしめつゝあり密陽水利組合區域内の未墾草生地五十餘町歩は組合が拂下げを受け開墾して水田となしたるも本年の洪水にて堤防破壞せられたる爲め成績の見るべきもの無かりしも地質は他に比して遜色なく堤防も目下復舊工事中なれば之れ亦將來有望ならん其他密陽附近に貸與を受けたる荒蕪地又は草生地の開墾に着手したる部分中水害を被りたる場所は收穫なかりしも間々水害を免かれたる地に於ける落花生の栽培は未墾地利用として見るべきものあり靈山郡の川崎農場附近洛東江に沿ふる砂土の原野二百町歩の地は處々に松を植ねたるの外何物をも見ざりしが邦人が開墾に着手し八十町歩に落花生を十數町步に煙草を植ね付けたるが幸ひ洪水の被害を免れて一反歩平均落花生四石の收穫を擧げ神戸の貿易商に賣渡したるが約一萬圓の收益ありたりと之れに附隨して落花生の栽培調製等に一日五百人の鮮人夫を使役したるが全部十一戸の栽培者が之等鮮人夫に支拂へたる賃銀は一戸二百圓乃至二百五十圓に上りたりと外に烟草栽培の人夫賃をも合算すれば一面不毛の地より民を霑ほすを得たる譯なり且つ落花生の栽培は容易にて鮮人に好適なる仕事なれば進んで之れが栽培の方法を研究し併せて販路に就て考究せんには荒蕪地の開拓としては面白き事業の一ならん（つゞく）

●本道模範用收穫高　京畿道に於ける模範田は二十一ヶ所なるが本年は内地籾種を栽培せし爲め非常の好成績にて擔當者の收穫豫想は百四十石位なりしに實收は約二百石なりしと云ふ

●學務委員異動發表　教育令實施後朝鮮全道に於ける公立普通學校學務委員京畿道廣州公立普通學校任韓宰外百九十五名は十九日の官報を以て發表の筈なり

●廣梁灣附近の消路　廣梁灣より龍岡郡溫井里に至る道路修築工事は關係地たる乃谷外六面居住の内鮮人に賦役して工事漸く竣成せんとする折柄同洞の新舊市街連絡道路の改修を企圖し本月五日關係諸官廳協議の結果同地に隣接せる貴上貴下兩面より約千名の出役援助に依り近日より工事に着手する由なり

取引所設立問題（一）

京城取引所設立の可否に就き左に財界諸者の意見を掲記せん

▲百卅銀行支配人　曰く未だ在鮮日淺く確たる意見も述べ難いが取引所を設立するとすれば夫れに依り公價なるものを定めらるゝ理で其の機構には相違なきも一方に於ては又た取引所ある爲めに空物を賣買する弊を惹起しはせざる乎尚ほ内地に於ける各取引所に就いて之れを見るも創立以來今日迄滿足に發達して居るのは僅に東京、大阪馬關の三取引所に過ぎず且つ其の悉くは米穀の方で雜穀の取引所の如きは殆ど謂ふに足らず比較的經濟事情の發達なしをる内地に於て既に然りとすれば京城に於て之れを設立するも決して永遠に渉りて完全なる發達を遂げ經濟上に裨益することは殆ど少なからうと思ふ况に角甚だ難駁ではあるが京城取引所設立は其の何種のものたるにせよ尚早なるを信ぜざるを得ぬ云々

▲韓一銀行支配人　曰く取引所が設立さるゝとすれば無論朝鮮人の之に依り相場を試むるに至るべきは明であるが所謂取引所なるもの、性質を學理的に眞に了解し居るものは朝鮮人間に殆ど稀で然らだぬに射倖心の强い彼等は勢ひ一攫千金を夢みて取引所に手を出し其結果由々しき弊害を朝鮮經濟の上に及ぼさゝるなきや朝鮮人側から取引所設立問題を觀ると尚ほ其の早きに過ぐるを唱ふるの外はない

▲漢城手形組合支配人　曰く這回設立を出願したのは株式の取引所とやらに記憶するが今日の京城諸株式の在高に見ても果して之れが設立の必要あるか否やを疑はざるを得ぬ即ち現在京城人士の所有する諸株券は其數極めて少數なるもので又た金利の關係上内地に於ける株券所有者が其の持株を京城に送るといふが如きこと萬々之れ無きは明である、とせば京城に取引所を設立するが如きは未だ早きに失する嫌なきか

●朝鮮皮革會社竣工　朝鮮皮革會社は永登浦に於て數萬坪の敷地に四千餘坪の工場を設置するに當り龍山鍛部組請負にて九月より起工し日夜工事を急ぎ既に全部の竣工を告げたるを以て近々機械の試運轉をなす由

●釜山製肥會社組織　釜山の某々氏等發起となり釜山製肥會社設立の計畫中なるが其資本金は十萬圓の豫定なりと

●平壤鑛業所の近況　平壤鑛業所にて豫て建築中なりし同所傳染病院は工事大に進捗し二十日頃までには全部竣成を見るべき筈なるが同病院は之れを要するに鑛業所員及び其家族の病者を收容する爲に設けたるものなりと云ふ尚近日の採炭量は一日平均二百噸なりと

●釜山近海の漁狀況　釜山灣十一月中に於ける漁況は上旬中豊漁たりしも其の後に於ける不漁の爲め其の成績概して前年と大差無し同月中の總水揚高六萬四千五百圓にして鯛は最も豊漁なりし同月に於ける價格は月末に於て稍騰勢しも十貫目に付鯛十一圓鰤五圓比良目五圓、鯖九圓鯖四圓の平均價を保持せりと

●漢江流域一面結氷　頃日來の寒氣にて漢江流域一面は一分乃至三分餘の厚さに結氷し船航は其薄き個所を勞いて辛ふじて航行しつゝありと

●清國商務總會開會　清國商務總會は十八日午後六時より華商總會に於て開會清國動亂に關する濟鮮貿易並に當地商況の調査をなしたりと

●山縣政務總監訓示　山縣政務總監は十八日午後一時より京畿道管内各恩賜授産場の職員を接見し勸業上に關する訓示をなしたり

●李完用總督府訪問　伯爵李完用氏は十八日正午山縣政務總監を總督府に訪問したり

●漢城共同倉庫引繼　既報の如く江景に於ける漢城共同倉庫株式會社所屬の倉庫三株は漢湖農工銀行にて引續ぎ經營することゝなり目下久能農銀支配人は江景に出張引繼中なりと

●釜山の人造製氷高　釜山稅關の調査によれば十一月中の同地製氷高四萬七千七十百二貫目にして販賣高三萬六千餘貫なりと云ふ

●朝鮮の發行高週報　十二月十日より十六日にいたる鮮銀發行高左の如し

銀行券總發行平均高	二五、三八〇、五二七
内	
正貨準備發行平均高	九、〇一九、八四七
保證準備發行平均高	一六、三六〇、六九〇

●取引所の立會開始　仁川米豆取引所は十七日午前十一時立會を開始したり

●補充憲兵一隊着發　補充憲兵百餘名は十六日着京し十七日勤務地へ向け夫れ〴〵出發せり

●山縣政務總監招宴　山縣政務總監は十八日午後四時より官邸に於て今回就任されし試補十餘名と各部長官等を招き宴を張りたりと

●青年會の家族大會　二十日午後六時より京城ホテルに於て青年會員（基督教）家族大會を催し宇佐美長官、渡邊高等法院長、ゲール博士丹羽清次郎諸氏の演説及餘興等ありと

●朝鮮通信社の招宴　朝鮮通信社は社長友枝英三郎氏の名を以て十六日午後五時各新聞記者通信員各通信社長を黄鳥谷鮮養軒に招待して盛宴を張りたり極めて盛會なりし

●水門分署擊劍納會　水門洞分署にては十七日午前十時より第二憲兵分隊道場に於て擊劍稽古納會を催せりと

●村田鑛務技師歸任　總督府鑛務課村田技師は歐洲鑛業視察を了へ十七日夜列車にて歸任一と先づ天眞樓へ投宿十八日歸任の挨拶を爲したりと

●高橋辯護士の歸京　豫て東上中なりし辯護士高橋章之助氏は十七日朝歸京

●故野邑トミ子葬儀　本社編輯長野邑安之助氏夫人トミ子の葬儀は既報の如く十七日午後一時自宅出棺大和町なる淨土宗開敎院に於て執行されたり會葬者は親戚知己及び新聞通信社員數十名其の如く僧侶の讀經に次で喪主親戚近親の燒香あり肚嚴の裡に同二時半式を終れり

公人私人

△宗像十郎（鎭南浦製鐵所技師）十七日山本へ

△小松良（釜山電氣會社庶務課長）同浦尾へ

△村田素一郎（總督府技師）同天眞樓へ

△増尾鉞三郎（滿鐵運輸課長）十六日出發釜山

△松本弘（時事新聞記者）十七日發東京

△勅使河原健之助（咸興地方裁判所判事）同釜山

▲京城手形交換高

十二月十八日	一五七、七〇一、四圓	七四五

▲治外法權▼

寺内總督から、大坂の銀行家實業家に宛て、十八日に堺卯に招待したいから、是非出席して貰ひたいと云ふ案内があつた▲主人が寺内だけに呆氣にとられた連中も尠くない▲銀行家はコレは多分朝鮮公債發行の下準備で、御馳走は恐いよと云ふ▲實業家はナニ寺内が此次の内閣に手を附けやうとする下拵だと憶測する▲コノ忙しい歲末に飛んだ愛嬌を振廻してくれるのも迷惑だと嘆じて居る者もあるとは、十六日附大坂毎日新聞合財欄の報じたところである▲サテ之れで見ると大坂人の餘り喜びソウにもない堺卯の御馳走も十八日に濟んだことゝ思はるゝが、ソレにしても寺内總督ともあらう人が、何の必要があつてコンナ事をヤラカスのであらうか▲敢て感傷論を持出す譯ではないが、一体全体人として他人を御馳走するときに、相手方から種々な忖度を受ける位氣の惡いものはなく、また威信を傷けらるゝものはない、ソコで我總督が今度大坂人をゴ馳走したにツイては、ヨクセキの理由が有つた事であらうが、記者の心底を云ふと、威權赫々たる總督にコンナ眞似をサセたくない▲尤も例の鮮銀大坂支店が、大坂の各銀行に爲替尻決濟用大々的借金のあることは知れたこと、併し此事の始末を附ける位は總督の耳へ入れずと出來る筈、ハテ市原鮮銀の無能にも困まつたもの▲鮮銀さへ云へば同行は當地各銀行の親銀行でありながら、昨今ドノ銀行へも融通を附けぬソウだが、若し本當なら惡いことだ、親が親らしい行ひをせぬと子が困まるのは必定、之れは監督官に是非共眼を明けて戴きたいね▲取引所設立認可の申請が當地有志者から出された、本紙は本紙の所見を述ぶる前に右に關する當地財界議者の意見を參考として紹介しよう。

特別廣告

事上中の處一昨夕歸宅仕候
十二月十七日
辯護士 高橋章之助

●恩を仇なる人非人

▽淫婦みちと情夫古谷

當地南大門外古市町居住中根澤藏（三七）が自己の妾なりし當時水票橋通金本正方同居山口縣人金村みち（三一）を傷害したる事件の大要は去る八日附の本紙に『圖々しき淫婦みち』と題し既報せしが其後該事件の眞相及成行に關し聞くがまゝを記さんに加害者中根は諸機械販賣業中根商會主にして五六萬圓以上の資産を有する商人なれば被害者が本件を公にしたる目的も知るに難からざるべし夫は措き兩人の間に情關係成立せしは一昨四十二年十月中中根が仁川八坂樓の下にありし待合某家に於て遊興の際當時同地花町三日月樓に酌婦從業中なりしみちが素人女に化けて席に侍したる時に初まり逢ふ度毎に深くなり澤藏はみちに對し出會毎に五六圓宛の小遣錢を與へ居りしにぞみちも又澤藏を大切に取扱ひ居り現に昨年十一月中の如きは隣室に開帳中なりし賭博現場に手入れありたる時の如き仁川署の坂下、今井等の刑事の爲めに現場を認められし事さへあり此關係に依りみちが實兄金村荒太郎は澤藏に於て使用人夫監督として使用する事になり昨年十一月頃より本年四月頃迄從事し居たるが事情ありて解雇され目下仁川丸三組の仲仕に從事し居れり猶みちの妹りゆ（十九）も其關係より澤藏方に下女として使用され居るなり、扨みちは昨年十二月頃より何處か温突にても見付け公然妾として圍ひ呉れと申込み居たるも澤藏の身分として温突住居もさせられざればみちの心掛を見定めたる上相當の店を開かすべき心組なりしに本年一月澤藏妻さみは突然急用あり大阪に歸る事となりしにぞ留守番名儀にて公然澤藏宅に入込みたるが茲に同家の寄宿人に古谷雄一なる者あり昨年七月中京城郵便局員として雇はれしが郷里に兩親あり扶養の義務を有する事とて普通の下宿住居を爲し居りては送金覺束なきより澤藏は之れを自宅に無料宿泊せしめ居たるものなるがみちは同家に入込む間もなく若者の本性を發揮し古谷の袂を曳きしに此も又重なる恩を忘れ果て澤藏の目を忍びて不義の快樂に耽り居しが本年四月に入りて中根の妻さみ歸京せしより仁川なる實兄荒太郎宅に歸り暫時中根とは遠ざかりたるも情夫古谷とは情交を繼續しつゝありし六月中旬又々中根の妻さみは大阪に商用ありとて出立し八月二十五日歸宅するまでは前同樣中根の宅に入込み居たるが此事はさみも既に薄々は氣附き居たるなりと、みちはさみ歸宅後直ちに仁川に歸りしが超ねて九月三日みちの實兄荒太郎は中根方を訪れ『妹みちに對し今回他より結婚申込み受けたるも貴許と關係ある爲め應せぬ故何とか始末をされたし』と持込みたり（つゞく）

●京城市民と圖書館

▽目下一日二十五六人

京城市民は如何に圖書館を利用しつゝあるかを知るべく訪づれて見た館員曰く未だ完備して居りませんが政治法律財政經濟文學宗教哲學等といつた書籍が八千冊雜誌が八十五種新聞が四十餘種あります閲覽者は無職者が一番多く次が學生で他は軍人官公吏會社員職人と顏振れは種々あります婦人は室を區別して無い故か藤張來ません一ケ月中に二三人位のもので子供は大抵日曜日だけですが一ケ月に百人內外です未だ婦人向き小供向きといふ樣な書籍が餘り多くないからでもありましよう男子の方は新聞雜誌が第一位を占め書籍は産業に關するものが筆頭で文學政治經濟等が之れに亞ぎ宗教哲學は稀れです一番忙しいのが午後三時頃から夜迄で現今では月曜を除くの外朝の九時から夜の九時まで開館してゐます閲覽料は大人一回三錢十五回四十錢小供が一回一錢十五回十二錢で之れは本月の十五日頃から取ることにしました追々寒空に向ふためか少しく人員は減じた樣です九月開設以來十一月末迄の總計が二千三百〇五人で十月が一日平均三十人十一月が二十八人十二月に入つてからは二十五六人です凡てが完備しませんから止を得ませんが京城市民の數に比しては多くない樣に思はれるモ少し活用して貰ひたいものです（一記者）

●日曜日の本町通

（十七日午後二時） 夜叉若

お寒いにも關はらず日曜日のこと、て出たはゝゝ奥様氣取つた藝者商等女中玄人風した奥様令孃凸坊が髯を生やした如な御亭主の後からズツト遠慮して前に行くのは妾の夫なやありませんと云つた顏した美しい奥樣もあれば夫の迷惑相なのをワザと傍に寄り添ふて妾の主人は好男子でしようと謂はぬばかりの醜い妻君もある獨身者は大抵見窶らしい襟垢の光る衣服寒むさうに見にる足るを知らぬ人間の顏には等しく欲しいと云ふ感じが歴然と浮んでゐる午後二時の本町通りは斯うした人間で雜沓を極めてゐる。何時迄つても狹い道路に軒を駢べた店舖の陳列の下手サ加減只恐れ入るの外は無い勿論商品によつて家の建築から店飾に迄相異はあらう然し京城に於ける多くのソレは甚だ陳腐なものばかりである序を以て云ふが往來に水を撒くのは不都合極まる殊に本町二丁目のチヨイト坂になつた處など危險千萬ソレに晝間最も人通りも烈しい本町通りを人業運搬車又は人糞桶を擔ぎ步くのは不体裁極まると思ふ或る洋雜貨店に這入つて見た賣れ行きは聽くと新開業ながら相應に客足繁きも趣好の低いのには驚きます華族女學校とか虎の門とか出の奥樣や洋行歸りの男子には說明も要しませんが大抵のお客樣には商品の名稱から使用方法まで詳しく申上げねば納得出來ないのには驚きます流行に就てもトント知らぬ方が多い樣ですソレにモ一つ驚くのは立派な旦那方で萬引を平氣でなさる方がありますす勿論素人で御座いますフイと氣が變つてチヨイと袖に忍ばすのは穴勝ち婦人ばかりではありませんそして其の方が十圓以上の御買物をなさるのだから面白いではありませんかと聽いて慌てゝ飛び出して考へた人間の泥棒根性は或る程度迄は普偏的のものであつて隙ある每にヤルのは決して鮮人ばかりでは無いと思ふた。

社告

鳥兎匆々愈極月と相成本紙新年號準備の期も愈相近かづき申候就て本紙が此際愛讀各位に御願致度は本紙新年號に掲載すべき各位玉稿の御寄贈に候其玉稿の論文たると將た美文たると詩、歌、俳句情歌端歌たるとは各位の御隨意にして本紙は硬軟何れをも歡迎仕候

新年畫附錄

本紙新年畫附錄は本紙が特に邦畫の大家川端玉章翁に依囑して成りたる勅題松上鶴の祝畵にして其高尚優美なるは贅言を要せずと確信候

十二月 京城新報社

●感心な花月樓主

▽名花『ぼたん』散る

當地花月樓抱藝妓『ぼたん』事佐々木キヨは去十一月中旬腸胃を害したるが原因となり他病を併發し同下旬には既に危篤を傳へられたるが龍山同仁病院に入り今村國手の診療を受け一時快方に向ひたる由取沙汰せられ居たるに近く病勢革まり十六日樓主や朋輩や仲居達の手厚き介抱同生の國手が救藥も效なく樓主其他の厚意に感涙に咽びつゝ二十歲を一期として遂に歸らぬ旅に上るの悼ましとも悼まし因に同人は山口縣岩國町の生れ本年五月上旬前借金一千八百圓三年半の契約にて花月に抱へられたるものなり右に付き感ずべきは花月樓主にして遺族に迷惑の及ばぬ如前借金の證文は元より病院費其他雜費貸金の證を介抱の爲め滯京中なりしぼたん實母の面前に於て燒棄てしのみか葬送費用萬端同樓にて引き受け京檢兩券藝妓會葬の下に哀れにも華やかなる葬儀を十七日花園町日韓禪寺に於て執行したり水口門外一片の煙と化し去んぬ、句あり『牡丹剪て心淋しき夕哉』（むの字）

貧困者ニ限リ無料調劑 仁川北嶋藥局

●感ずべき小學生徒

▽教員の身を氣遣ふ

京畿道管內通津郡邑內朴應春男天龍（八つ）と云ふは數年前父に死に別れ目下は實母李氏と共に邑內鄭方に寄食し私立通津普通學校第一年級へ通學し居るが常に孝心深く學校にては學業品行共に優等にして生徒間の模範となり居るものなるが去る五日例になく寒氣劇しきより折柄宿直の日人教師眞木岩雄氏の身を氣づかひ態々自宅より白毛布を用意して學校教員室に至り眞木氏に今日は寒氣劇しければ之れを着して寢み給へと着せかけ又た二三日後往來にて眞木氏の來るを認め路傍に佇み同氏の行き過ぐるを待ちて其後より從ひ行くに訝しと其の理由を問へば師の先に立ちて步を進むるは師の陰をさへ蹈まずといふ教へもあり師弟の禮を缺ぐこと大なれば云々と答へたりとかにて其の心情の大に賞すべきものあり學校長は早速賞狀を與へ其の行を稱したりと

●南門校に猩紅熱

▽各自注意肝要

明治町二丁目秩父屋事關根寅吉長女ヤエ子（九）は南大門小學校尋常二年生なるが十四日迄通學し十五日より發熱漢城病院へ入院治療中の處十七日午後八時頃に猩紅熱なる事判明せしより南大門小學校生徒一同健康診斷を行ひ十八日一日休校したりと

●重病者を遺棄す

▽無慘なる步行客主

仁川朱安面石岩里二統二戶酒幕步行客主崔澤西（三二）方に去月八日午後六時頃慶尙南道生朴聖化（五二）なるもの來り同月二十日迄宿泊滯在中朴は重病に罹り步行をも爲す能はざるに至りたるのみならず言語不通殆ど瀕死の狀態なるを同客主崔澤西は無慘にも同二十日朴を莚に包み同村居住李致三なる者を雇入れ夜間に乘じ北方より七八丁隔りたる道路上に放棄し置きたるを折柄同邑駐在西村巡査發見し行路病者として面議所に引取し收容中同夜死亡したるを以て取敢へず假葬儀を執行せしが去十四日に至り同巡査が前記の事實を探知したるを以て右を告發し目下仁川署にて取調中

仲居評判記（十一）

靜陽軒のれ靜

坊ちやん十七八年にして若旦那となり二十五六年にして貴郞となりれ父さんとなり五十年にして好老爺となり六七八十年にして蒸物饅頭となつて石に勸さるゝは上等の部下等なのは甕に入れられて蜜柑箱の隅にカンテラ油烟に燻る、精養軒として生れた黃鳥谷の料亭は靜陽軒と改名に及んだり、萬千閣や食道樂や開業の花々しきに似ず一言の挨拶もなく廢業仕つた所ダチな客の落籍沙汰同樣なり、精養か靜陽か春ともなれば又靑陽とでも變へる氣か父つあん應ういだ、と醉はぬ內から卷き返す管に卷かれぬしづや靜かな仲居振り『此景色で御座いますので御贔負下さるので增築致しましたモウ席がございませんなぞと失禮致す樣な事もございますまいと存じます、大廣間が出來ましたから御多人數樣の御宴會も御引受け出來ます、此も皆樣の御贔負の御餘光でして』と謙遜した處極めて二宮式である、產地は秀吉信長の兩公を出した愛知縣は中島郡萩原町本名は野田はつ當年二十七歲難を云ふと少々沈着過ぎる點にある、沈着も過ぎると鈍いと云ふ事になる、過ぎたるは及ばざるが如しだ、內地で一度嫁入りしたが事情あつて悲しい夫婦別れをした小說の如な物語りは當人の口から聞き下さい。

●競賣された食道樂鑑鶴

▽幾何だか金高不明

當地新町にありし食道樂及同人の經營なりし新町遊廓鑑鶴樓が破產して債權者の手に歸したる有体動產料理に屬する器具一切及寢具衣類等見積價格金四千圓の物品を竹園町二七競賣所の手にて永樂町三丁目清華亭樓上に於て十七日午前十時より競賣に付せられしを以て競賣得金及種類等を聞く可く記者は競賣係員を訪ひしに最初衣類の競賣高五百餘圓に器具が九百餘圓なりと答へ詳細に記者の質問に應答中の所他の所員は同人を呼び一室にて密議を爲したる結果秘密なれば發表出來ぬ殊に新聞には都合悪しと答へたるが競賣所得金を發表せざる理由は如何

●土佐に朝鮮藝妓

▽夫れが願付の美形

京城西部盤石坊米廛下契盖井洞五統九戶池景文養女李紅梅（三）は日本高知縣高知警察署管內に於て藝妓稼業願出たるより同警察署より李紅梅の素行及藝妓稼業に付池景文の承諾の有無を照會し來れり因に李紅梅は頗る美形なりと

●正月の福壽草　新年元旦の飾花盆栽として水仙及福壽草なるが今回信州下高井郡延德村の盛農園にては有名なる北信産の福壽草にて極濃黃金色長大なる大々輪咲八重咲等取交せ五本を一鉢分とし一鉢分每に送料荷造り費共十九錢宛を送る同好者には早咲法を添へ直送し尙雪中開花の水仙望みの人には極濃黃金色八重大々輪咲四球箱入を同十八錢にて何人にも直送する由

●殉職消防夫の葬儀　長橋通り二丁目大分縣人大工職篠田章（三三）は南部警察署管內第一部消防夫なりしが十五日明治町唐川吳服店裏に於て十八尺の梯子に乘り練習中誤つて頂上より墜落し即死したるより十七日午後一時自宅出棺眞宗山本願寺にて葬儀執行したり會葬者は南部警察部より警察長今村警視以下三十餘名警務總監部よりは玄角保安課長代理安藤警視等にして京龍兩地の消防夫全部も會葬したり

御歲暮用好適品

日本官製煙草

不二（二箱十入包）定價壹圓八拾貳錢
芙蓉（二箱十入包）定價壹圓六拾貳錢
敷島（二箱十入包）定價壹圓六拾貳錢
大和（二箱十入包）定價壹圓參拾貳錢
朝日（二箱十入包）定價九拾貳錢
ウエルス（五箱十入包）定價壹圓也

東亞煙草株式會社

●溺れて放尿する　若草町一丁目六十三番戶福山榮作方雇人ペンキ塗職宮崎駒次郎（卅三）は十七日午後四時半頃壽町三丁目飮食店伊藤さよ方にて飲酒の末暴行放尿し南部署に突き出され拘留五日に即決

●窃盜捕はる　廣島縣吳市北の町當時大和町二丁目百八十八番戶木村定吉は十四日夜水標橋通り一丁目岡本助藏方に忍入り銘仙綿入袷外四點を窃取し尙外數ケ所に忍入り金品を窃取したる事發覺し銅峴分署に捕れ取調中

●鮮人强盜出沒　十八日午前四時三十五分東部昌善坊於義洞二十五統二戶李鍾暎方に一名の强盜出刃を携へ闖入し家人を脅迫し同家に止宿中の趙永浣（三）を縛し家の內を案內せしめ現金十數圓を奪取し逃走したりと

●時候柄の盜み物　南部倉坪坊陽洞金德榮（三）は十六日夜長谷川町一丁目小園德一方にて木炭一俵を窃取し南部署に捕れ取調中

●演藝だより

▲壽座　十八日の代狂言は『善惡二人狂』には午後六時までに入場の方は金十錢の割引あるべしと

▲浪花館　若遊三一行の落語、手踊り

廣告

拙者今般官を退き左の所に事務所を開設し一切の法律事務に從事す
辯護士 法學士 正六位 勳四等 加古貞太郎
事務所 京城鍾路通裁判所前
住宅 京城大和町二丁目（電話八七三番）

支店設置御披露
從來明治町一丁目に於て營業罷在候處店舖狹隘之爲めメリヤスタオル木綿其他糸製品雜貨等當支店に於て營業仕候間多少に拘らず御用命之程願上候
◎文房具學校用品其他凡百の雜貨は從來の通り明治町本店に於て取扱申候
▲メリヤス類▲手袋▲靴下▲糸製品各種
▲タヲル▲毛布▲其他雜貨
コ 小林民次郎支店
京城本町六丁目 電話一一五七番

海陸物產卸專業
特に蜜柑、林檎、鹽鮭、鱒、昆布
何れも產地より輸入廉價に販賣可仕候に付多少に不拘御用命の程奉願上候
京城南大門通二丁目市場
御進物用として蜜柑一梱り（小箱四二）以上御買求の御方には特に御値段にて差上可申候
モ 荒德
電話九九九番 電略（ア）

● 電話 二、〇九二番 開通
京城本町六丁目
增戶銃砲店

長崎流
志るこ 茶碗むし むしずし
南山町六丁目
松その
電話一一八五

亡母野邑トミ葬送の際は遠路態々御會葬被下奉多謝候一々拜趨御禮申上べき處混雜中の事とて貴名伺洩れも難計乍略儀以紙上御厚禮申上候
十二月十八日
野邑雄吉

購買入札公告
一四百磅鐵線一萬一千貫
右購買入札ハ十二月十八日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルベシ
朝鮮總督府通信局

內科小兒科
診察時間（自午前九時至午後二時）
京城明治町三丁目
醫學士 村上龍藏
電話六一三番

名士貴婦人訪問記

穩健にして有益なる雜誌 實業の日本社々長 (同社は有名なる婦人世界及實業の日本等を發行せられ常に青年子女の指導に務められつゝあり)

增田義一氏令夫人の談

東洲生

大層御盛大で結構でございますね化粧の話といつて私には別段な意見はございません。私は性來脂肪が多いものでございますから從前から鉀が嫌ひで風呂に這入ります時には、彼の小麥から出る麩を使用つて居ました、此習慣は極く小さい時からですが、袋に包んだら何かするのが、眞に面倒で、夫れがクラブ洗粉ですと、其儘使用が出來ますから近來は面倒のないクラブ洗粉を一番喜んで使用つて居ります、糠ではドウも私共の樣な脂肪の多い者は、垢が十分に落ちないやうな心持がいたします、夫れが麩を使用ふと悉皆取れるやうな氣持がするのですが、クラブ洗粉を使用ふと、丁度麩を使用つたと同じ樣な宜い心持が致します計りでなく香ひも高尚で至極結構でございます。能く世間の人は石鹸を使用つて顔を荒すとか申されます樣ですがクラブ洗粉は澤山使用つても決して左樣なことはありません、モー一つクラブ洗粉の特長を申しますれば、使ひかけて永く置いても決して質の變らないのが他の洗粉に比較べて大層宜い樣に思ひます。白粉は私は以前他の白粉を使用つて居りましたが、近頃はクラブ白粉ばかり使用つて居りますと大變宜い樣でございます、それに私はクラブ化粧水を好んで居ります故、クラブの煉白粉を化粧水で溶いて使用つて居ります、無論普通はクラブ水白粉で結構ですが、白襟の衣裳でも着る時には襟首が餘り黑から練白粉を使用つて居ます云々。

小川一眞氏令夫人の クラブ化粧品實驗談

(小川氏は吾が邦寫眞界の泰斗令夫人は維新の元勳板垣伯の令嬢なり)

私はクラブ洗粉の實驗者で、常に受用して居ります。洗粉も昔は豌豆で製したとか聞いて居りますが、クラブ洗粉は何で製造される事か知りませんけれど、何れ現今の進歩した科學的研究を積まれ、衛生に適し無害にして且つ垢や脂肪のよく除れる材料を使用されて居りませう、私なぞの實驗によりますと他の洗粉は使ふとドウもヨレチ心持が惡い、クラブには決して夫れがないのが先づ第一に喜ばしい點ですさうして使用した後は、サッパリとして誠に心持が宜い又白粉の走りも至極工合が宜しい樣で、殊に久しく第の口を明けて置いても餘り變質粉にならないでヨレル憂ひのないが何よりと思ひますクラブ粉白粉も折々用ひて見ますが、是れも結構の樣に思ひます。尙湯上りの時など、汗の多く出ます時、打粉白粉を用ひますと、サッパリとして氣持の宜いばかりでなく皮膚の清潔をも保ち、併せて垢のつくのを豫防致します。

旅行家として足跡天下に遍き某博士は日へり

汽車旅行に於て幾關車より吹き送らるゝ煤煙ほど不快にして且不衛生なるものはなし、しかも客車には洗面所の設備あれど、其處に備へ付けられたる石鹸は此等の煤煙を洗ふ爲めには實に効力が薄い、故は余は經驗の結果により旅行には必ずクラブ洗粉を用意す、蓋し煤煙の汚れ等に對してもクラブ洗粉は最も有效なりと。

東西煙草商會販賣所龍山代理店
貿易商㋫古迫龍山支店 龍山元町一丁目 電話六一五番
今般古迫龍山支店を當所龍山代理店と爲し當所同樣の直段にて貴需に應じ可申候條御愛顧御引立の程偏に願上候先は龍山代理店開設御披露迄如斯御座候
明治四十四年十二月十六日
京城本町六丁目 ㊜東西煙草商會販賣所 電話六五二番

年末年始 御進物用
アサヒ エビス サッポロ ミュンヘン ビール
清涼飲料 シトロン
化粧箱、切手調進仕候

●洋藥品各種 ●最新新藥各種 ●衛生山分析用器械類 ●細菌學用器械藥品 ●繃帶材料 ●醫療用器械 ●理化學用器械藥品 ●敎育用器械標本 ●藥局用器械材料 ●齒科用器械藥品 ●工業用藥品 ○有名賣藥卸賣
總督府各官衙御用達 官公私立各病院御用達
京城本町一丁目(電話三七一番) 山岸天佑堂藥房
調劑の御依賴に應す

てんかん病
粲屋家傳の神効湯は効驗顯著なる靈藥なり往復端書にて御照會次第詳報す
兵庫縣尼崎町別所村 廣小路 建石

新築落成 移轉廣告
○移轉先 京城黃金町二十番戶
明治四十四年十二月十七日
舊營業所 旭町二丁目百十五番戶
㊢東京建物株式會社派出所 電話一六八一番

腦病全治新藥
神經をおこづめ腦病を全治す
島村醫學博士の有効證明を得たる健腦丸は、腦病神經病に奇効を奏し逆上を引下げ、便通を心能し、中風卒中を未發に防ぎ恐るべき腦充血を全治す
健腦丸
記憶力惡き人 頭痛する人 神經衰弱にて氣分鬱ぐ人 常に腦神經を勞する人の必用藥は獨り本劑のみ也
(藥價 一日分十錢、三日分廿五錢、七日分四十五錢、二週分八十五錢、五週分金二圓)
本舖 大阪心齋橋二丁目 丹平商會藥房
分店 大阪平野町堺筋北 丹平商會分店
支店 東京日本橋箔屋町 丹平商會支店
▲賣劑は全國有名藥店に取次す
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

複方 アンチヘブリン
感冒解熱 特効劑
四季のかぜ はやりかぜ ねつ病一切 づつうの良藥
發賣元 京都市三條柳馬場角 川杉資善堂
藥價 二日分金拾錢 五日分金廿錢
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

飲みすぎ食ひすぎには ビットル散
本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郎 各藥店ニアリ
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

大坂瓦斯コークス 並に器具一式
國定教科書 文房具販賣
仁川新町二丁目 百崎金港堂 電話五百八番

紀州有田直輸 本場みかん
味は本場品に限る
▲優美御進物用品各種
酒井市場 京城本町六丁目 電話五八七

京城に於て最も靴を安く賣る靴店は獨り北村靴店
有のみ京城聯合大賣出加入店
◎米國製ボックス一枚皮深ゴム ……ボックスタックス變形淺ゴム 四圓五拾錢
◎同キッドボックス一枚皮編アゲム ……ボックス深ゴム 六圓五拾錢
◎獨逸製ボックス一枚皮編アゲム 英國製キッド深ゴム 七圓五拾錢
獨逸製ボックス上等 英國製キッド上等 一枚皮編深アゴゲム 八圓五拾錢
歐米皮革直輸入 高等靴製造販賣
京城本町一丁目郵便局前 電話一四七七 東京北村支店

新荷着
厚物薄物 浪板平板 鐵板各種 各種 垣用線
和洋金物商 佐野彥藏商店
京城本町二丁目 電話一六三番 振替口座京城一二〇番

世界無比 淳良清酒

○堺大塚の金露銘酒は今回改良に付て釀造酒のみを用ゆる事にせられたり
○大塚醸造場の金露酒は衛生に經濟に嗜好に付會における一大良品なり
○京城に於ける金露特約販賣店の元祖は佐藤牧商店なり
○大塚金露酒最近中味改良の結果賣捌高大多數を占めたるは佐藤牧商店なり
○地方御得意樣には中味改良の驗をして大割引廉價を以て御注文に應じ可申候
特約大販賣 京城本町二丁目 佐藤牧商所 電話二九番 振替京城二九番

小倉齒修所 京城南山町二丁目 (伊藤組南へ入る)

雲州本場みかん 壹箱(四十五錢ヨリ七十五錢マデ)
▲出荷迅速▲照會即答▲誠實勉强
◎雲州本場蜜柑直輸入販賣元
◎北海道産林檎玉葱直輸入元
◎備前岡山産梨子一手販賣元
◎關門諸野菜類直輸入販賣元
生果青物問屋 松原筆藏商店
京城南大門通り二丁目 電話一一八三番 電略(ヘ) 振替口座京城四四八番
◉市内は電話又はハガキにて御注文即時持參仕り尚一圓毎に景品券呈上仕候

營業項目
牛乳搾收業 家畜飼養繁殖 畜産物賣買 家畜飼糧販賣 種牛種付及貸牛 其他畜産業一切
京城南大門外 荒井牧場 (電話一〇五六番)
江華島 荒井第二牧場
○牛乳販賣は京龍牛乳一手販賣所へ委托致候間從來通同所へ御用命希上候
○洋牛及朝鮮改良種夕々繁殖致候間御買求願上候

りん病患者に警告す
サンタールが淋病に特効ある事は今や天下の認識する處となれり而かも本劑は日獨より尤大なる廣告を爲さず偏に其卓抜なる藥効に依頼して一般の信用を博するに至れるは弊店の誇とする所なり
抑も淋病の如き疾患は其藥效の見易きことと恰も外科醫手術の巧拙を均しく患者自身に於て直に輕快を自覺するを否とに由り容易に判斷することを得るを以て何人と雖も之を欺くに由なし而して市上淋病の特效藥と稱するもの枚擧に遑あらずと雖も獨りサンタールが其名聲を擅にする所以は其優越なる藥效が幾多淋病藥中一頭地を拔くものあるが爲めに外ならず
●本品は獨特の長所 本品は內服して一種の化學的變化を起し腸度の防腐殺菌液となり尿と共に排泄せられ自然の洗滌法となるを以て淋病菌を其根底より驅逐するにはサンタールの外又良藥なし
發賣錄商標 りん病 複方 大学病院方劑 サンタール SANTAL
藥價 急性用三週分一圓八十錢 慢性用二週分一圓二十五錢 一週分六十五錢 小包密送
本家 京都市二條通木屋町 振替大阪三三四番 藥學得業士 濱田北辰堂藥局
代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番 振替口座京城一〇六八 十六番

最上醬油 特約販賣 仁川京城 髙雄支店

入院隨意
京城櫻町三丁目(電話三七八番) 中島醫院
院主醫學得業士 中島貞信

十二月中 汽船出帆廣告
三省丸 濟州島行 十二月廿一日前八時
天草丸 海州行 十二月廿一日前二時
武載丸 屯串行 十二月 日前十二時
安下丸 海州行 十二月十九日前十一時
三省丸 大湖芝行 十二月十九日前七時
仁川本町四丁目 電話一七三番 合資會社秋田商會汽船部
仁川本町一丁目 電話七五〇番 秋田商會船舶部
荷客取扱所 仁川本町海岸通 電話四一九番 柴田回漕店
仁川本町四丁目 電話五二二番 山本回漕店